

「有機農業100万ha」「農薬50%減」「化学肥料30%減」…

# どう考える? 「みどりの食料システム戦略」

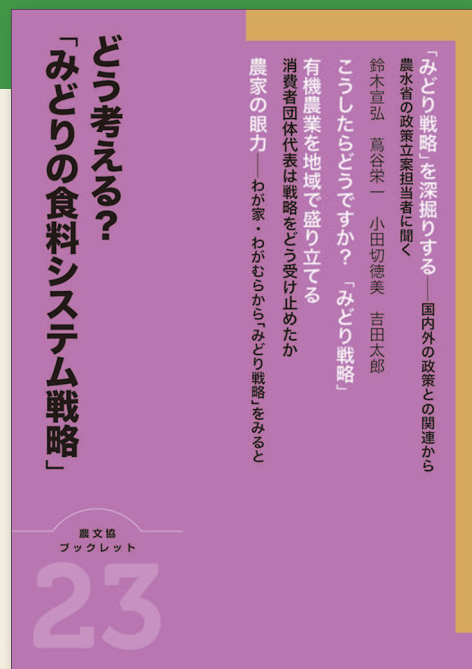
農文協編 A5判 136頁 定価1100円(税込)

SDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくなかで、持続可能な農業システムを構築することが急務となっている。こうしたなか農水省は「みどりの食料システム戦略」を打ち出した(5月12日)。

本ブックレットでは、「みどり戦略」を日本農政(農業)の真の大転換にするためには何が必要かを、識者や農家とともに考えてみたい。そこでは今後30年の農業のあり方として、有機農業だけを突出させるのではなく、作物の力と自然循環、自然のエネルギーを生かす持続的農業を総体としてのばしつつ、有機農業を位置づけるという視点が必要であろう。

また、有機農業や持続的農業を単なる農業の形としてではなく、地域やそこに住む人々の営みとのかかわりでとらえる視点も重要である。学校給食など公共調達や新規就農者の受け入れ(田園回帰)などからめて、自治体やJAの施策として有機農業や自然栽培を推進している先進地域に学びながら、有機農業・持続的農業が住みよい地域をつくり、地域を元気にする方向を示したい。そこでは地域資源に根差した「農山漁村発イノベーション」が原動力になるはずである。

- 早わかり「みどり戦略」—国内外の政策と関連づける—農水省政策立案担当者に聞く
- こうしたらどうですか? 「みどり戦略」
- 有機農業を地域で盛り立てる
- 農家の眼力—わが家・わが町から「みどり戦略」をみると



9月末発売  
予約受付中

### [執筆陣]

【巻頭エッセイ】 やまぎきようこ、内山節、宇根豊

鈴木宣弘(東京大学教授)、葛谷栄一(農的社会デザイン研究所)、小田切徳美(明治大学教授)、吉田太郎(長野県農業試験場・有機農業推進プラットフォーム担当)、齋藤真一郎(新潟県佐渡市・農業)、魚住道郎(日本有機農業研究会理事長)、澤登早苗(恵泉女学園大学教授・日本有機農業学会元会長)、植木美希(日本獣医生命科学大学教授)、村上真平(家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン代表)、鮫田晋(千葉県いすみ市農林課)、姜乃榮(住民連帯運動活動家)、関根佳恵(愛知学院大学准教授)、粟木政明(JAはくい経済部)、柴山進(NPO法人アグリヤさと)、伊藤由理子(生活クラブ連合会会長)、大信政一(パルシステム連合会理事長)、藤田和芳(オイシックス・ラ・大地会長)、林重孝(千葉県佐倉市・農業)、横田修一(茨城県龍ヶ崎市・農業)、松村務(滋賀県近江八幡市・農業)、木村節郎(山口県田布施町・農業)、菅野正寿(福島県二本松市・農業)

注文書	農文協ブックレット23		冊
	『どう考える? 「みどりの食料システム戦略」』		
9月30日発売		定価●1,100円(税込)	ISBN: 978-4-540-21179-9
氏名(団体名)	ご住所(〒 )		
(ご担当者様)			
TEL.	FAX.	E-mail.	@

**農文協** 一般社団法人 農山漁村文化協会 <https://shop.ruralnet.or.jp/>  
 〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 TEL.03-3585-1142 FAX.03-3585-3668

- 北海道支部(札幌) TEL.011-271-1471 FAX.011-261-2809
- 東北支部(仙台) TEL.022-262-5804 FAX.022-221-2235
- 関東甲信越支部(小山) TEL.0285-27-3047 FAX.0285-27-6804
- 東海北陸近畿支部(名古屋) TEL.052-746-2061 FAX.052-746-2063
- 東海北陸近畿支部(大阪) TEL.06-6962-0491 FAX.06-6962-4855
- 中国四国支部(岡山) TEL.086-231-2693 FAX.086-232-0385
- 九州沖縄支部(福岡) TEL.092-586-6505 FAX.092-586-6507